

研究課題名	間脳下垂体疾患の長期追跡に基づく臨床像と転帰の検討
研究責任者名	広島大学病院 脳神経外科 講師 木下康之
研究期間	許可日 ~ 2032年12月31日
対象者	1990年1月から2031年12月の間に、広島大学病院脳神経外科及び県立広島病院脳神経外科・脳血管内治療科で間脳下垂体疾患に対する治療を受けられた患者さん。
意義・目的	間脳下垂体疾患は良性腫瘍のことが多く、本来は数十年という長期的な視点で治療する必要があります。しかし間脳下垂体疾患は発生頻度が低い疾患でもあり、その長期的な転帰ははっきりしていない部分も多いです。広島大学病院は40年以上も前から間脳下垂体疾患の治療に取り組んできており、これまで蓄積されてきた多くのデータがあります。また県立広島病院脳神経外科・脳血管内治療科でも間脳下垂体疾患の治療が行われています。2つの病院のデータを合わせてさらに多くのデータを集積し解析することで、間脳下垂体疾患の長期的な転帰を検討することを目的としています。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査（内分泌学的データ）、画像所見、病理所見、周術期合併症、転帰、予後などです。（個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ）
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2020年5月18日）以降
外部への情報の提供	広島大学及び、共同研究機関である県立広島病院において対象者を識別できないように個人情報加工済みの情報を共有し、共に解析を行います。共同研究機関である県立広島病院への情報提供は、対象者を識別できないように個人情報を加工した上で、共同研究機関である県立広島病院へ対象者を識別できないように個人情報を加工した状態でパスワードを設定しメールを送付することで行います。
研究の実施体制	研究代表機関 広島大学病院 脳神経外科 木下 康之 研究機関の長：広島大学理事 田中 純子 共同研究機関 県立広島病院 富永 篤
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 講師 木下 康之
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が

生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5227

広島大学病院 脳神経外科 講師 木下 康之